

皆さんは、蛇口をひねれば綺麗な水が出る。そんな「当たり前」なことが世界の「当たり前」ではないことを知っていますか。

僕は去年の夏、「ミクロネシア諸島自然体験交流事業」でマーシャル諸島共和国という国に行きました。全国から応募が集まった同年代の仲間とマーシャル諸島共和国・ミクロネシア連邦・パラオ共和国の3カ国に分かれて、現地の子たちと無人島に行ったりホームステイしたりして、交流しました。初日は東京で泊まりました。歯を磨くときは水道水を使い、蛇口をひねればきれいな水が出るのは、ごく普通のことでした。

翌日は中継地のグアムで一泊しました。この時、僕たちのチームリーダーに「歯を磨く時などは水道水ではなくペットボトルの水を使いなさい」と言われました。日本では水道水を飲んでも安全だけど、ここではお腹をこわすかもしれないことに驚きました。

三日目は、グアムからミクロネシアの島々を飛行機で経由しながら1日かけてマーシャルの首都マジュロに到着しました。マーシャル諸島は29の環礁と5つの島でなる国です。マジュロも環礁になっていて、内海と外海があります。内海で泳いでいる時に見た、色とりどりの様々な形のサンゴはとても綺麗で、一番の思い出です。

五日目はホームステイに行きました。ホームステイ先ではご飯を食べさせてもらっている時に出てきた飲み物が全て缶に入ったジュースでした。ジュースだったのは僕たちへのおもてなしだったかもしれませんが、それでもペットボトルの水を飲んでいと思います。それがマーシャルでは日常でした。マーシャルは面積がとても小さく、きれいな水を手に入れるには雨水をためるか買うしかない国です。調べたらトイレを流したりする時は中水道という水道を使うそうです。マーシャルでは水が貴重なので、上水道を使うのではなく中水道という海水をくみ上げて流しているそうです。また、下水道

も日本では処理してから海に流しますが、マーシャルでは下水をそのまま海に流しているそうです。昔は海で自然分解できるゴミでしたが、今はペットボトルや缶、お菓子の袋など流せないゴミが増え、ゴミ処理施設がないマーシャルでは下水に流せずゴミの山として溜められています。ゴミの山の横をバスで通った時、「マーシャルで一番海拔の高いのがゴミの山になる日も遠くないよ」というリーダーの話に納得するほどのゴミの山が目の前にあり、びっくりしました。

国土全体で水道水が安全に飲める国は世界で9カ国しかないそうです。グアムも都会でしたが、蛇口から出る水は飲める水ではないから、飲み物も歯磨きもペットボトルでした。

僕は水が当たり前に出てくる国が少ないことをマーシャルに行くまでは全く知りませんでした。また、水が当たり前に出てくることに何も感じていませんでした。でも、マーシャルに行つてそれが「当たり前」ではなく自分たちが本当に恵まれているのだと知りました。日本には降った雨を蓄えて川を作り出す自然豊かな山や森があつて、安全できれいな水にする浄水場があるから「当たり前」に水が飲めます。そして汚れた水を綺麗にする下水処理場やゴミ処理場があつてゴミも溜まらず、排水も海に流せます。それは決して「当たり前」ではなく、世界でも数少ない恵まれた環境なのです。

これからは感謝を忘れず、日々の生活の中で水の無駄使いをなくします。そして、ゴミを減らし、限りある資源を大切に使う、きれいな山や川そして海にしていきたいです。

そして、日本だけでなく海でつながっているマーシャルの自然も守ってきたいです。